

# 令和2年度 栽培専攻課題研究

## ASIAGAP 認証取得

食品流通科 3年 【GAP 班】

### 目的

#### 〈目的〉

→安全・安心が確保できた米づくり

#### 〈目標〉

→今年度での ASIAGAP 認証の取得

来年度への引継ぎ・作成したルールの周知

近年の GAP 取得活動増加への先駆け＝地域活性化



図1 GAPとは

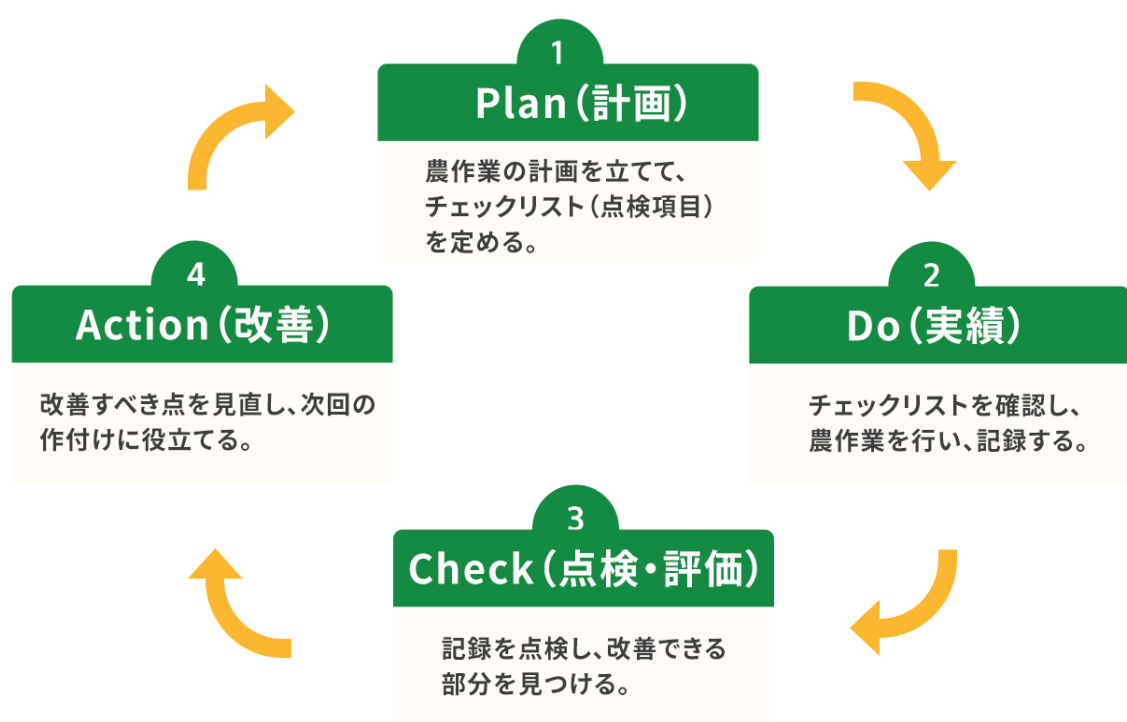


図2 GAPの基本サイクル

### これまでの主な取り組み

#### 1.実際に農作業している1年生への聞き込み&見学

→実際に農作業しているところを見学した。

1年生の生徒に聞き込みを行った。



写真1 聞き取り調査



写真2 環境整備

#### 2.フローダイアグラム・農場管理マニュアルなどの書類作成

→各工程における危害要因とその対策・ルールの作成

別資料：(フローダイアグラム・農場管理マニュアル)

#### 3.適用範囲内の倉庫や圃場の設備整備

→まず、現状の適用範囲の様子を確認。

リスクや危害要因を見つけ、改善した。

別資料：(例…育苗箱が設置されている倉庫のレイアウト)

#### 4.校内での内部監査

○日時 2020年10月7日(水)～9日(金)

○場所 農業基礎実験室・関係施設・圃場(水田)

○監査員 森先生(ASIAGAP指導員) 小林先生(ASIAGAP指導員)

○実施要領 ASIAGAP 農業用管理点と適合基準 穀物 Ver.2.2

○達成度 約81%! (必須・重要・努力含む)

○具体例

I 生産物取り扱い施設の掲示物に関する指摘

II 農場管理マニュアルの改善及び追加すべきルールの指摘

III 施設及び圃場周辺のレイアウトとリスク評価についての指摘

### まとめ

私たちが実際に現場に出て話を聞き、そのあとに資料を改める作業や、先生たちの知識や過去の経験を教えていただいたりしつつ、管理点をクリアしていく作業を繰り返し行ってきた。その中で、現場を第三者の目線から見つめつつも、作業者の視点や動線を配慮したルール作りは、とても難しいと感じたが、同時に私たちの粘り強さや客観性を育ててくれた。

また、10/7～10/9に行った内部監査では上記以外にも指摘点が数多く出た。本審査は11/14(土)を予定しているため、今後は今までよりもさらに正確さとスピードを大切にして管理点をクリアし無事にASIAGAP認証を取得したい。

### 今後の活動計画

○～11月14日(土)

内部監査で指摘された箇所の修正・本審査への準備

○11月14日(土) 公開審査

○本審査後～

本審査での指摘点を是正・12月のお米コンテストへの発表準備

来年度への引継ぎの計画